



令和2年度東京都スポーツ推進制度唯一の「殿堂入り企業」として顕彰！

2021年4月5日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、「明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする『特色ある個性豊かな会社』」を目指し、全社を挙げてスポーツ振興・障がい者スポーツ支援に取り組んでいます。

今般、東京都スポーツ推進企業制度*における唯一の「殿堂入り企業」として、令和元年度に引き続き顕彰を受けましたので、お知らせします。

1. 背景

当社は、2006年に(一社)日本車椅子バスケットボール連盟日本代表と公式スポンサー契約を締結し、以来、2014年に(公財)日本障がい者スポーツ協会と公式パートナー契約を、2016年には(一社)日本身体障がい者水泳連盟とオフィシャルスポンサー契約を締結する等、障がい者スポーツ支援を中心に取り組んできました。また、2019年4月にはプロランナー川内優輝選手と所属契約を締結し、マラソンを通じて日本全国を盛り上げ、地域貢献につなげようという全国行脚プロジェクト「マラソンキャラバン」を開始しました。全国各地で「観て、感じて、考える」をスローガンとした社員による大会応援を開催し、その活動を通じて得た多くの知見を、現在の取り組みにつなげています。

これらの取り組みにより、令和元年度、東京都スポーツ推進制度における「殿堂入り企業」(5年連続モデル企業の認定)となったことを受け、令和2年度も唯一の「殿堂入り企業」として顕彰に至りました。

2. 令和2度における当社の主な取り組み

| | |
|---------------------------------|---|
| 所属選手による 応援バトンリレー | ・コロナ禍におけるアスリートの動向や在宅でも可能な健康維持の方法を所属アスリートが順番に SNS と社内報で配信 |
| 上智大学と共同で 「多文化共生社会研究所」 を設立 | ・これまでの活動を検証し、その足跡をレガシーとして残す ・障がい者スポーツや様々な背景を持つ人々への支援を通じた調査・研究を実施。併せて上智大学内の講座テーマに反映 ・論文、報告レビュー、公開講座等のアウトプットにより研究所を通じて社会提言につなげる |
| アスリート採用 | ・2020年度、パラアスリート2名の採用、アスリート1名の所属契約 ・コロナ禍にあってもアスリート支援を縮小することなく従来通り継続 |
| 自治体との連携による アスリートの社会活動 | ・所属アスリートによる小学校体験授業やオンライン講演会等を実施し、自治体と連携した地域貢献活動を実施 |
| 川内優輝選手による マラソンキャラバン | ・マラソン大会の多くが中止となるも、オンライン開催など工夫しながら、講演活動等を継続的に実施 |
| 代理店ニュースでの アスリート動向発信 | ・社員のみならず、全国の代理店に所属アスリートの動向を発信し、モチベーション喚起と応援する機運を醸成 |
| 地域ごとにスポーツ関連 団体への支援 | ・スペシャルオリンピクス日本・福島など、地域ごとに関連団体への寄付活動を実施 |

3. 今後の展開

コロナ禍の社会情勢を「with コロナ」として受け入れ、所属アスリートの活動および当社の支援活動を継続していきます。

※東京都スポーツ推進企業制度とは

2015年度から東京都が制定した制度。従業員のスポーツ活動促進に向けた優れた取組やスポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等「東京都 スポーツ推進企業」として認定し広く都民に周知することで、企業におけるスポーツ活動を推進も、スポーツに対する社会的気運の醸成を図り、「スポーツ都市東京」を実現することを目的としています。

今年度 317 社が認定されました。

東京都スポーツ推進企業として認定された企業のうち、特に社会的な影響や波及効果の大きな取組をしている企業等を「東京都スポーツ推進モデル企業」として今年度 10 社が選定されました。当社は 5 年連続でモデル企業となり、以降、「殿堂入り企業」として永続的に顕彰を受けることとなります。

なお、当社の障がい者スポーツ支援の取り組みについては、障がい者スポーツ支援 web サイト「AD Challenge Support」にてご覧いただけます。今後も全国であらゆる障がい者スポーツ支援の取り組みを行ってまいります。

 AD Challenge Support

障がい者スポーツ
応援サイト

ADチャレンジ

検索



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

